

第 19 回 廃棄物対策専門委員会 議事要旨

日時：2018 年 11 月 16 日（金） 15：00～17：00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 第二大会議室

1. これまでの固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発結果について

IRID から、これまでの固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発結果について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 処分概念の構築については、長半減期及び短半減期に対する考え方をしっかり整理して検討を進めるべき。
- 研究開発対象の技術に選択肢がある場合、重点の置き方が重要である。また、選択にあたっては安全性、技術的適用性及び経済性等の指標が不可欠であり、それらがブラックボックスにならないようにすべき。それらを念頭に研究開発成果の統合については検討を進めるべき。

2. 2019 年度以降の固体廃棄物処理・処分に関する研究開発計画について

NDF から、2019 年度以降の固体廃棄物処理・処分に関する研究開発計画について説明した。

専門委員からの主な意見は以下のとおり。

- 固体廃棄物の処理・処分に関する研究開発の各項目に対する達成目標は、もう少し具体的にしてもよいのではないか。
- 高線量廃棄物の水素発生対策については、国外の保管時の対策等の調査結果のみならず処分を行う際の評価等、もう少し踏み込んで情報を整理したほうが良い。

3. その他

- 次回廃棄物対策専門委員会について。

以 上